2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　東陽倉庫株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　9306　URL https://www.toyo-logistics.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）黒田　城児
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）山田　智樹　TEL 052-581-0251

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月２日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	15,850	6.1	565	△15.0	774	△16.6	566	△36.9
2026年３月期中間期	14,935	3.4	665	12.1	928	0.7	899	29.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,655百万円（34.2%）　2026年３月期中間期　1,233百万円（101.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	75.38	―
2026年３月期中間期	119.21	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	52,441	30,477	58.1
2026年３月期	50,339	29,116	57.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　30,477百万円　2026年３月期　29,116百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	30.00	―	40.00	70.00
2027年３月期	―	35.00			
2027年３月期（予想）			―	40.00	75.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．2026年３月期の期末配当金の内訳　普通配当　30円　記念配当　10円（設立100周年記念配当）

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	1.1	1,380	0.2	1,700	△11.0	1,150	△30.8	152.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	7,864,990株	2026年３月期	7,864,990株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	342,797株	2026年３月期	346,444株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	7,519,973株	2026年３月期中間期	7,541,330株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… P.2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… P.2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… P.2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P.2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… P.3
（１）中間連結貸借対照表 …… P.3
（２）中間連結損益及び包括利益計算書 …… P.4
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… P.5
（セグメント情報等の注記） …… P.5
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P.6
（継続企業の前提に関する注記） …… P.6

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用環境の改善やインバウンド需要の回復等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きにつきましては、物価上昇の継続に加え、中東情勢の不安定化や為替相場の変動等による景気への影響が懸念されます。

このような事業環境の中、当社グループは、①物流テクノロジーを駆使した３ＰＬ物流の推進、②海外ネットワークの拡充、及び、グローバルな業務の強化、③所有不動産等の活用による不動産関連事業の拡大を進めてまいりました。

また、当社グループは、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、営業収益の拡大を図るとともに、収益性及び経営効率の観点から、「売上高経常利益率５％」、「自己資本利益率５％」を目標値として設定しております。

事業のセグメント別及び連結の業績は次のとおりであります。

＜物流事業＞

保管料、陸上運送料、航空運送料等が増加したことにより、営業収益は前年同期と比べ952百万円増加（6.5％）し、15,563百万円となりました。一方、セグメント利益は再保管費や人材派遣費をはじめとした外部委託費等の増加により、前年同期と比べ173百万円減少（△18.7％）し、752百万円となりました。

＜不動産事業＞

賃貸料収入、工事の請負収入が減少したことにより、営業収益は前年同期と比べ37百万円減少（△11.6％）し、287百万円となりました。セグメント利益は前年同期と比べ15百万円減少（△11.6％）し、120百万円となりました。

＜連結＞

上記の結果、営業収益は前年同期と比べ914百万円増加（6.1％）し、15,850百万円となりました。営業利益は前年同期と比べ100百万円減少（△15.0％）し、565百万円となりました。経常利益は前年同期と比べ154百万円減少（△16.6％）し、774百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は「投資有価証券売却益」の減少等により、前年同期と比べ332百万円減少（△36.9％）し、566百万円となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、「現金及び預金」が740百万円、「投資有価証券」が1,425百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ2,101百万円増加（4.2％）し、52,441百万円となりました。

負債につきましては、「長期借入金」が441百万円減少したものの、「短期借入金」が608百万円、「その他の流動負債」が475百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ740百万円増加（3.5％）し、21,964百万円となりました。

純資産につきましては、「利益剰余金」が264百万円、「その他有価証券評価差額金」が1,126百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ1,361百万円増加（4.7％）し、30,477百万円となりました。

当社グループは、持続的成長へ向け、積極的な設備投資を実施する方針であります。同時に、有利子負債残高、金利水準等に留意しながら安定的な財政状態を維持するよう努めてまいります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年５月13日の「2026年３月期　決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,070,796	6,810,925
受取手形、営業未収入金及び契約資産	5,464,455	6,074,718
リース債権及びリース投資資産	101,720	70,584
原材料及び貯蔵品	67,993	78,694
その他	1,036,894	833,656
貸倒引当金	△593	△812
流動資産合計	12,741,265	13,867,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,507,941	13,081,416
土地	10,130,914	10,130,914
その他（純額）	1,474,228	1,445,515
有形固定資産合計	25,113,084	24,657,846
無形固定資産	259,594	313,018
投資その他の資産		
投資有価証券	10,306,966	11,732,486
リース債権及びリース投資資産	489,288	469,434
その他	1,431,183	1,402,773
貸倒引当金	△1,605	△1,602
投資その他の資産合計	12,225,833	13,603,091
固定資産合計	37,598,512	38,573,957
資産合計	50,339,778	52,441,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,970,181	1,914,919
短期借入金	4,608,300	5,217,250
未払法人税等	272,979	243,110
引当金	357,758	335,260
その他	988,983	1,464,454
流動負債合計	8,198,202	9,174,994
固定負債		
長期借入金	9,855,700	9,414,150
引当金	28,500	3,600
退職給付に係る負債	409,051	389,916
資産除去債務	130,094	131,236
その他	2,601,967	2,850,561
固定負債合計	13,025,313	12,789,464
負債合計	21,223,515	21,964,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,225,185	2,227,683
利益剰余金	20,193,269	20,458,092
自己株式	△482,639	△477,391
株主資本合計	25,348,340	25,620,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,116,572	4,243,240
退職給付に係る調整累計額	651,349	613,116
その他の包括利益累計額合計	3,767,922	4,856,356
純資産合計	29,116,262	30,477,265
負債純資産合計	50,339,778	52,441,724

（２）中間連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業収益	14,935,384	15,850,303
営業原価	13,775,839	14,769,300
営業総利益	1,159,544	1,081,003
販売費及び一般管理費	493,955	515,536
営業利益	665,588	565,467
営業外収益		
受取利息	1,100	8,474
受取配当金	113,319	125,036
持分法による投資利益	172,626	102,128
その他	30,944	48,101
営業外収益合計	317,992	283,741
営業外費用		
支払利息	51,864	72,223
その他	2,870	2,298
営業外費用合計	54,734	74,522
経常利益	928,845	774,685
特別利益		
投資有価証券売却益	269,806	55,923
固定資産売却益	8,176	9,887
受取保険金	40,000	－
特別利益合計	317,983	65,810
特別損失		
100周年記念事業費	－	6,534
関係会社出資金評価損	－	6,146
固定資産除売却損	2,736	3,574
事業所移転費用	11,855	－
特別損失合計	14,591	16,254
税金等調整前中間純利益	1,232,238	824,241
法人税、住民税及び事業税	284,864	242,347
法人税等調整額	48,347	15,016
法人税等合計	333,211	257,364
中間純利益	899,026	566,877
（内訳）		
親会社株主に帰属する中間純利益	899,026	566,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345,705	1,126,667
退職給付に係る調整額	△11,113	△38,233
その他の包括利益合計	334,592	1,088,434
中間包括利益	1,233,618	1,655,312
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,233,618	1,655,312

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	14,610,709	324,674	14,935,384
セグメント間の内部営業収益又は振替高	－	252	252
計	14,610,709	324,926	14,935,636
セグメント利益	925,456	135,974	1,061,431

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,061,431
全社費用及び全社営業外損益（注）	△132,585
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	928,845

（注）全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	物流事業	不動産事業	合計
営業収益			
外部顧客への営業収益	15,563,448	286,855	15,850,303
セグメント間の内部営業収益又は振替高	－	252	252
計	15,563,448	287,107	15,850,555
セグメント利益	752,172	120,240	872,412

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	872,412
全社費用及び全社営業外損益（注）	△97,726
中間連結損益及び包括利益計算書の経常利益	774,685

（注）全社費用及び全社営業外損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び管理部門の営業外損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。